

企業立地の魅力 引き出す

進む交通網の整備 新工業団地を分譲へ

自動車や鉄道など交通インフラ網が発達する千葉県。6月7日には圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の神崎インターチェンジ（IC、千葉県神崎町）―大栄ジャンクション（JCT、同成田市）が開通。常磐自動車道、東関東自動車道とつながり、交通ネットワークが格段に強化される。県はこれを活用し、企業誘致を加速。大都市近くでの産業集積を高めていく。

工場立地 増加傾向

経済産業省の2014年（12月）の工場立地動向調査（速報）によると、メカソーラーなど電気業を含む千葉県内への工場立地件数は前年比48・5%増の49件で全国22位。工場立地面積は同4・1%増の124万平方メートルで全国16位だった。それでも08年のリーマン・ショック後の景気後退で、09年には工場立地件数が同68・8%減の15件まで落ち込んだが10年以降は毎年増加傾向にある。東京湾アクアラインの通行料金引き下げ・800円分の継続や、圏央道の整備の進展、成田空港の発着枠拡大など、潜在的な企業立地の優位性が追い風に、特に6月7日に開通する神崎IC―大栄JCTは9・7キロの延伸だが千葉県にもたらす効果が大きい。常磐道と東関東

工業団地 造成・分譲

この交通インフラ網の整備効果を波及させようと、県は受け皿となる新しい工業団地の造成に着手している。「茂原には工業団地」（茂原市）は全地面積約42万平方メートル、分譲面積約19万平方メートルを予定する。圏央道の茂原北ICから約2・5キロと車で約5分の場所に位置する。都心、成田空港、羽田空港に約60分と好立地な環境にある。圏央道の大栄JCT―松尾横芝IC間が今後開通すれば、成田空港へのアクセスは格段に向上する。



稼働した吉野機械製作所の新工場。BCP対策を強化した



圏央道の大栄JCT（5月22日撮影、NE XCO東日本提供）

面積約32万平方メートルを予定する。東関東道館山線の姉崎袖ヶ浦ICから約2・5キロと車で約5分の場所に位置する。都心、成田空港、羽田空港に約60分と好立地な環境にある。圏央道の大栄JCT―松尾横芝IC間が今後開通すれば、成田空港へのアクセスは格段に向上する。

首都圏・関西 企業を誘致

一方、県内の既存企業の中にも県内の工業団地に移転し、再投資する動きもみられるようになった。吉野機械製作所（千葉市緑区）は、東日本大震災を踏まえた事業継続計画（BCP）対策として、臨海部にあった主力工場（千葉県船橋市）を地盤の強固な千葉土気緑の森工業団地（千葉市緑区）に移転、稼働を始めた。総投資額は約8億円。同社はプレス機械の設計・製造を手がけており、新工場に先端設備を導入し、競争力を高めたい。

震災の復旧・復興も着々と

直接被害 相談増加

東日本大震災から5年目に入り、県内の復旧・復興は着実に進んでいる。行政も復旧・復興から地震に対する備えに重きを置いている。全国的にみても液状化の被害が北の取引先の操業停止による売り上げの減少などに集中していた浦安市では、5月13日、竹下亘復興大臣が初めて浦安市を訪問した。視察後、竹下復興大臣は集中復興期間の今年度までに終わらない市街地液状化対策事業について全額国費で負担する考えを示している。一方、中小企業や個人

事業者の経営者が抱える課題も変容してきている。千葉県産業復興相談センター（千葉市中央区）に持ち込まれる相談件数は、12年度が地震・津波による全壊・半壊など「直接被害」の相談件数が42件、風評被害や東北の取引先の操業停止による売り上げの減少などに「間接被害」が130件。13年度は同22件、同66件、14年度は同45件、同68件と、直接被害の相談がここに来て増えている。木下和久統括責任者は「震災時に一部損壊したが、そのまま事業を継続した企業が新たなビジ

中小企業が再投資 県復興センターも一役



専門家が相談案件に丁寧に対応

ネス展開を期待して、工業が増えている」と指摘。設備の修復を望む企業も。現在も月10件程度

専門家ら、幅広い意見吸い上げ

の相談案件が持ち込まれ、約3割が直接被害に関する相談という。同センターは東日本大震災で被害を受けた中小企業、個人経営者などの事業の再開や事業再生を支援する機関。金融専門家、公認会計士、中小企業診断士などの専門家を対象に幅広い相談に無料に応じている。

**事業計画策定
23案件着手**

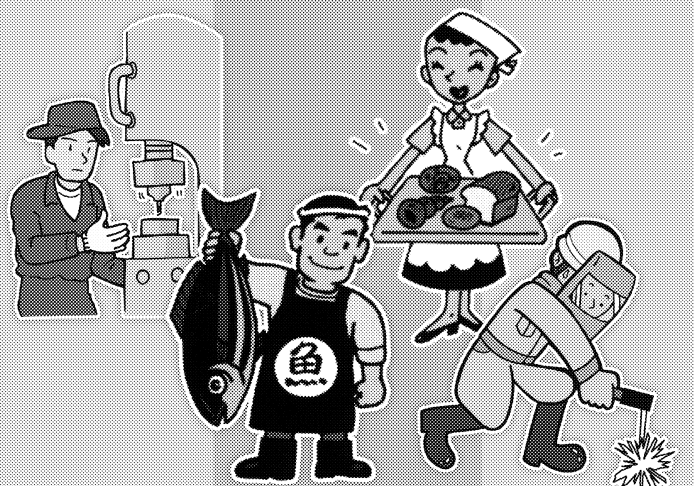
相談案件は14年度までの37カ月間で累計449件、うち97件で取引金融機関から条件緩和が応諾され、16件で買い取り支援を完了した。対応済みの案件の中には、東北の工場が直接被害を受けた県南部の水産加工業者に、対して事業再生計画の策定と金融調整の結果、工場を新設し再稼働したケースもある。現在、資金繰り、新規借り入れ、条件緩和などの具体的方策や事業計画の策定など23案件に着手している。さらに県内の広範囲の声を拾うため、震災の影響や金融機関との取引状況を尋ねる調査に着手。これまでに観光・旅館・ホテル業、食品製造業など約500社に対して実施した。今年度は食品関連を除く製造業約1万社に調査票を送付し、県内の幅広い意見を吸い上げ、再投資に意欲的な企業などの支援を積極的に行っていく計画だ。

千葉県特集

千葉県産業復興 相談センター

事業の再建等でお悩みの方、
ぜひご相談ください！

当センターでは、東日本大震災以降、売上が減少したり、資金繰りが大変になった中小事業者の皆さまのご相談をお受けし、事業の再建に向けお力になれるよう、最大限努力してまいります。



お問い合わせ
〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館1階
TEL:043-215-8790 / FAX:043-215-8791

詳細は… **千葉県復興センター** 検索

IMATEK

DWTT
ワールドリーダー。
振り子式に比べ大幅なコストダウン!!

120,000J

詳しくは **イマテック dwtt** 検索
ITSジャパン株式会社 TEL:047-449-2961

あんな素材ないか ー。こんな樹脂があれば ー。

新しい発想の製品開発には、必ず新しい素材が必要です。

1つのニーズに1つの素材でお応えする

ケミカル・オーダーメイド

ー アクリル・ウレタン樹脂等の製造販売 ー

大成ファインケミカル株式会社
http://www.taisei-fc.co.jp/

本社・工場
〒289-2505
千葉県緑区緑数9163-19 あさひ緑地工業団地内
TEL 0479-64-2077(代) FAX 0479-64-2288

営業所・研究所
〒124-8535
東京都葛飾区西新小岩3-5-1
TEL 03-3691-3111(代) FAX 03-3691-3160

工業団地 **分譲中!** 残り区画わずか!

緑にかこまれた快適環境

千葉土気緑の森工業団地

低価格が魅力!

あさひ新産業パーク

千葉県土地開発公社 <http://www.ctl.or.jp/>
〒260-0855 千葉市中央区市場町7-9 TEL. 043-222-9107 FAX. 043-222-9784

MAKUHARI MESSE
International convention complex

<http://www.m-messe.co.jp/>

東京駅から特急利用で海浜幕張駅まで最速23分。
成田空港から約30分。羽田空港から約40分。
駐車場約5,500台収容可能。

株式会社
幕張メッセ

〒261-0023 千葉市美浜区中瀬2-1
TEL 043-296-0001

ここでしか体験できないことがある。

Feel!